会報 "滝二11"（イレブン） 春夏秋冬 第84号

発　行：滝川第二高校
サッカー部父母の会
発行年月日：2021年２月28日

卒業していく35回生へ

監督より

滝川第二高等学校　サッカー部監督　亀　谷　　誠

◎2020シーズンの振り返り

リモートでの個別のプレシーズントレーニングを経て6月より本格的に始動しました。「ボールを大事にし攻守にわたり主導権を握り積極的かつ献身的にプレーする」をチームのゲームモデルに設定し、その実現のために様々なトレーニングを行なって来ました。選手たちは私の示した方針に本当に真摯に取り組んでくれました。

◎３年生への言葉

キャプテンを中心にゲームに多く出ていたメンバーはもとより勝ち進んでメンバーに入ることを最後の最後まで諦めず精進していた選手たちのことも大きく記憶に残っています。選手たちは私にとって自分の子供のようです。彼らを誇りに思います。いつでも戻って来て顔を出して欲しいと思っています。悔しい思いをした代からその後大きく飛躍する選手が多く出る事例もあります。大きなショックが意識改革のターニングポイントになるケースが多いことと関係しているのかもしれません。多くの選手がサッカーを続けるということを大変嬉しく思っています。夢を追い続けることを笑う人がいたらどうか気にしないで欲しい。その人に関わることにエネルギーを使うより自分の夢実現にエネルギーを使ってください。一度の人生切り開くのは自分自身です。幾つになっても夢を追い自分の決断に自信を持って進んで欲しいと思います。「怯まず・驕らず・溌剌と」みんなの未来に幸あれ。

◎次シーズンへの展望

35回生の生き様は新たな門出の大きな第一歩となる「厳しい経験」を下級生に残しました。この「厳しい経験」を直接体験した二年生は新チームスタート時点で大きなアドバンテージを得ることになりました。こういった「経験」を積み重ねることで初めて今まで見たことのない新しい舞台に到達できるのだと思います。魔法はありません、一歩一歩謙虚に３５回生の置いていってくれた「経験」をさらに積み上げていきたいと思います。35回生には今年度の結果がどうなるか是非見守ってもらいたいと思います。

■コーチより

2020シーズンの振り返り、3年生への言葉

甲南大学4年生
滝川第二高校サッカー部31回生　神　宮　浩　気

35回生の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の方々、約3年間滝ニでの選手達を支えてくださりありがとうございました。そして約2年間滝川第二サッカー部に私を迎え入れてくださりありがとうございました。私自身この2020年シーズンは最後の年ということで去年よりも選手権に出場したいという気持ちは強くありました。しかし結果としては達成することはできませんでしたが、数多くの思い出を私は3年生達と作れた事、多くの試合に帯同させてもらえた事、ボールを一緒に蹴って遊んだ事、いじりいじられを繰り返した日々などすごく充実した日々を送ることができ私はこの2年間大満足の2年間でした。本当に貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

大学生になる35回生の選手達に伝えたい事は２つあります。1つ目は「自律すること」です。今までと違い大学生になれば全ての行動の責任を自分で取らなければなりません。女の子関係、お酒関係、お金関係、夜遊び、など多くの面倒臭い絡みが必ず増えます。本当にその行動を取ることが正しいのか?周りに流されてはいないか?しっかり考え自分を律してください。そして1番伝えたい2つ目は「自分が選んだ道を正解の道にしてください」これは私が甲南大学サッカー部を辞めるか悩んでいる時に滝ニサッカー部の先輩に言われた言葉です。「就活の為にサッカー部に残るか、指導者をしたいから辞めるかどっちが正解なのかがわからん。」と先輩に相談した時に言われました。そこで滝ニで指導者をすることを自分で正解の道にしようと思いました。実際に選択の分岐点の時にどっちが自分にとって正しい道かは誰もわかりません。その道を選んだ後の自分の行動次第で人生は大きく変化すると共に、正解か不正解も一転すると思います。だからこそ自分の選択を不正解だと思わず正解の道にできる努力をこれから4年間日々行って欲しいです。

最後に35回生の選手達、20歳になれば飲みに行きましょう。35回生の保護者の皆さん、いつでも飲みに行きましょう。拙い文章ではありましたが最後まで読んで頂きありがとうございました。

神宮コーチ！ありがとうございました！また遊びに来てください！ マネージャー一同より

兵庫県高校サッカー選手権大会　試合結果

◎２回戦
滝川二　１－０　須磨友が丘

◎３回戦
滝川二　３－０　神戸星城

◎準々決勝
滝川二　４－１　芦屋学園

◎準決勝
滝川二　１－２　神戸弘陵

☆第３位

高校サッカー最後の公式大会（選手権）を終えて

3年　眞　古　大　介

最後の選手権大会では、準決勝で神戸弘陵に2-1で惜しくも敗れてベスト4という結果で終わりました。悔しい結果になりましたが、35期生の27人全員で、最後まで誰もかけずに終える事が出来て本当に良かったです。

この3年間でたくさんの貴重な経験ができました。ニューバランスカップ（裏選手権）での初優勝や、兵庫県リーグ1部優勝、神戸市リーグ1部優勝などと、滝二の歴史に残すことができたと思います。今年の一文字の「龍」のように、これからも強く、上へ上へと駆け上がってほしいと思います。

今年は本当に大変な一年でした。監督が変わったり、コロナの影響でインターハイの中止や遠征の自粛など満足にサッカーできない時期があり、悔しい気持ちでいっぱいになっていた時もありました。当たり前にサッカーができていたことが、できなくなり、改めてサッカーができることに対して感謝しなければいけないんだなと強く感じた年になりました。

一年生、二年生には、今年の悔しさを忘れずに1日1日を全力で頑張っていってほしいと思います。

最後になりましたが、大変な状況の中、監督やスタッフ、保護者の方々のサポートがあったからこそ、最後の選手権では存分にサッカーを楽しめました。負けた悔しさを絶対に忘れずに、これからも「怯まず・驕らず・溌剌と」次のステージで頑張っていってほしいと思います。3年間ありがとうございました。

高校生活の振り返りと卒業後の展望・目標（35回生）

3年　川　浪　喜　隆

自分が高校3年間を振り返って思う事は、楽しかったというのが1番強いです。一年生の時は、先輩や先生にめちゃくちゃ怒られて怖かった記憶と夏の走りがきつかったという印象です。2年生の時は、人生で初めて「継続は力なり」という言葉を実感できた年になった記憶があります。自分はサイドバックの選手ですが、2年生の間はほとんどセンターバックでの出場でした。最初は少し抵抗がありましたが、センターバックをする事で試合全体が観れるし、サイドバックの動きについても客観的に考える事ができたのですごい良い経験になりました。Bチームでしたが、県リーグ2部の試合に出続ける事ができて、チームに何が必要なのかと自分がチームに何ができるのかをすごく考えた一年になりました。3年生になって、亀谷新監督に変わり、戦術、練習時間、練習方法など1、2年の時とはいろいろなものが変わりました。今までは前に早いサッカーでしたが、これからはボールを大事にして支配していくサッカーになりました。自分にとっては大きな変化で、今まで自分の中には無かった、ポジショニングなど新しい知識を取り入れる事ができたので、大きく成長できたと思います。最後は僕たちの目標を達成する事は出来なかったけれど、強い滝二を取り戻すための大きな一歩を踏み出せたと思います。この3年間で成長感じれたし、辛いこととか、逃げ出したくなる事もあったけど、ここで出会った最高の仲間が支えてくれた。そういったもの全て含めて、楽しかったという言葉が1番思う事です。ここでの経験を活かして、次のステージでも頑張りたいと思います。

3年　奥　　涼　介

3年間あっという間に過ぎたなと、今とても感じています。高校一年生のころは本当にただ練習についていくのが精一杯でAチームなどとはほとんど疎遠のような状態でした。何をしても上手くいかず、練習が本当に嫌になるほどサッカーに対する姿勢が全く出来ていませんでした。その中でも少しだけ県リーグに絡めたことが唯一の収穫だったと思います。高校二年生に入ってからは少し時間にも余裕ができやっと学校生活に慣れたかなと感じていました。しかしサッカーでは、Aチームに関わることが増えましたがそれでも選手権のような大きな公式戦は全く絡むことが出来ませんでした。それに、自分と同期のやつがどんどん試合に出て本当に焦りしかありませんでした。でもやっぱり大事なのは、自分を信じて一生懸命努力すること、例えどんな立場でも今自分ができる事を全力でやるということでした。信じて信じて、少しだけですが実った時期もありました。先輩が引退してから初めての新人戦、自分は全ての試合に絡むことが出来ました。勿論結果など納得していません。悔しい限りです。しかし、一生懸命取り組む事で誰にでもチャンスはあるんだと、強く後輩達に伝えたいです。結局自分達の代は入学してから一度も全国を経験することが出来ませんでした。滝二に入ったからといって全国に出れる保証など全くありません。AチームBチーム関係なしに、一人一人が今自分がやれる精一杯の努力をしてほしいです。誰かにバカにされて見下されてもくじけずに頑張ってほしいです。僕も大学生、社会人になっていく上で苦しい事があると思いますが滝二で培ってきたものを必ず生かしたいと思います。いつか必ず全国大会に出場してください。応援しています。本当に3年間ありがとうございました。

3年　西口颯汰

私は、滝川第二高校で過ごした三年間で様々なことを経験し、成長することが出来ました。勉強面では、わからないところを互いに教えあいながら行いテストで良い点数を取ることができました。入学当初は授業についていけない日々が続きましたが、部活動の友達や、クラスメイトに助けられ次第についていけるようになりました。部活動は、どの部もレベルが高く練習量も多いですが、その分一緒に頑張ってきた仲間との友情はとても強いものとなりました。また、技術面だけでなく、礼儀や生活の面においても多くのことを学ばせていただきました。そして、学校行事でも他のどの学校にも負けない盛り上がりを見せ、高校生活での大切な思い出として心に深く残っています。滝二での三年間を過ごしてみて、『こんな最高な学校は他にない』と胸を張って言えます。卒業後は大学生活を楽しみながらサッカーも頑張り、文武両道できるように頑張ります。

3年　佐々木謙心

改めて滝川第二高校サッカー部で過ごした3年間を振り返ってみると、本当に内容の濃い充実した3年でした。

自分自身本当に怪我が多く、1年の秋頃に発症した股関節の怪我がなかなか治らず、落ち着いたと思えば右膝半月板損傷。挙げ句の果てには左膝の後十字靭帯損傷と怪我に苦しんだ3年間でした。実質プレーすることができたのは1年半程しかなく、その中でもテーピングをしながらプレーをした期間がほとんどでした。

もっとサッカーをしたかったというのが本音です。ですが怪我をしたことで学べたことも多くありました。その中でも改めて気づいたことは、自分はサッカーが大好きだということです。怪我の多さに失望し挫けそうになることもありましたが、1日でも早く復帰してプレーするためだと思うとどんなにきついリハビリも前向きに取り組むことができましたし、プレーを観て学ぶことも積極的に行うことができました。

大学でもサッカーを続けますが、自分がプレーをして身につけたことと共に、怪我の期間があったからこそ学べたことを糧に頑張り、サッカーを楽しみたいと思います。

ここまで自分がサッカーをしてこれたのは多くの方のサポートのおかげです。

まずは家族。どんなときも自分のことを応援してくれてありがとう。自分がプレーをしたかった滝川第二高校で過ごした3年間は本当に充実したものでした。結果を出すことはできなかったけれど滝川第二でサッカーができてよかったです。ありがとう。

そして亀谷監督、廣瀬先生、藤森先生、中尾コーチ、神宮コーチ、松岡前監督、顧問の先生方、伊藤先生をはじめとしたトレーナーの皆様、本当に3年間お世話になりました。

サッカーのことはもちろんですが、人として学ぶべきことや身につけるべきことなど、多くのことを教えていただきました。サッカープレイヤーとして、そして人間としても成長することが出来たと思います。ありがとうございました。

最後に35回生のみんなへ。35回生27人で過ごし、切磋琢磨した3年間はかけがえのないものです。

たくさん怒られたことや真夏に外周7周走ったこと、終わりの見えない至誠寮合宿などしんどかったことも今となっては大切な思い出です。

35回生で目標を達成することはできなかったけれど、このメンバーでサッカーができてよかったです。みんな3年間ありがとう！

3年　松 本 祐 満

滝二での三年間を振り返って僕は悔いが残っています。一番の悔いは日本一という目標を達成することができず全国大会に一度も出場することが出来なかったことです。

僕は一年生の頃から出場機会をもらったり、沢山良い経験をすることができました。ですが、思い通りにプレーが出来ず迷惑をかけてばかりでなかなか自信を持つことができませんでした。その分自分の代では自分の経験値を活かして目標を達成しようという気持ちがとても強くとても思い入れがありました。しかし、今年はコロナによって予定が大幅に変わり、サッカーができない期間が続きチャンスも減り苦しい一年でした。最後に巡ってきたチャンスで勝ち切ることができなかったのは自分たちの力不足でもあり、過信もどこかにあったのかもしれません。サッカーの難しさを改めて実感しました。

35回生27人と過ごした時間は一生の宝物であり、すべてがとても楽しかったです。みんなには本当に感謝しています。

僕はプロサッカー選手になるという明確な目標があるので、大学4年間全てをかけて4年後目標を達成して、良い報告ができるようにします。

3年　井 上　翼

僕は高校から愛知県から兵庫県に来て、寮に入り、最初は慣れないことややったことのないことが多く、慣れない生活で大変な部分が多くありました。しかし、寮の生活の部分では同じ寮生と協力し合いながら、日々生活をしていく中でいろいろ学ぶことができたり、精神的にも成長することができたと思います。寮生活を通して少しずつ成長することができたと思います。この経験を次のステップに活かしていければいいと思っています。

卒業後は大学へ進学し、一人暮らしをする予定なので、寮生活を通して感じたことや学んだことを活かしていきたいと思います。また、サッカーだけでなく勉強にもより一層力を入れていき、文武両道をはかっていきたいと思っています。しかし、一人暮らしは寮生活と違い何もかも自分でしなければならないので、今まで以上に大変だと思いますが、この高校三年間で学んだ「怯まず奢らず溌剌と」を忘れずに大学四年間も乗り越えて行きたいと思います。

三年間ありがとうございました。

3年　濱　岡　倫　生

この3年間は約10年間サッカーをしてきた中で最も苦しいことが多かったですが、とてもいい経験になりました。

特に忘れられないのは、グロイエンの東海大仰星戦です。交代を告げられたときは、「滝二でのサッカー生活オワタ、ベンチ戻りたくないなー、学校辞めよかな」と思い、顔を上げられませんでした。ベンチに戻ると藤森さんに「神戸FCで何学んできてん」「覚悟がない」と言われ、自分の不甲斐なさを痛感し、泣いてしまいました（パワハラではないです）。よく考えると、その頃の僕は確かに滝二でサッカーをする意味を理解していなかったと思います。実際に、入学する前や、してすぐの頃は、中学時代に所属チームやトレセン、（京サン笑）などでほぼ毎試合出ていたので勘違いし「高校でも出れるやろ」という甘い考えになっていました。でもこのような経験を通して、過去や未来に囚われるのでなく、今やるべきこと、自分に与えられた役割をしっかり考えて、全集中で取り組むことの大切さに気付くことが出来ました。この他にも様々な経験や気付きを与えてくれた滝二スタッフの方々や仲間、先輩、後輩、保護者の方々には本当に感謝しています。

〜卒業後の目標〜

大学生活では、まず勉強を頑張ります。TOEICで700点以上とり、サッカーも続けるので、東海リーグで活躍できるように頑張ります。3年間ありがとうございました。

3年　モラッドハジャティ　貴哉

この三年間を振り返ると様々なことがありました。長いようで短い三年間でもありました。やはり、全国に出れなかったのは悔しいです。監督が変わってから周りの目も変わり全国への出場が期待されている中で行けなかったのはより悔しかったです。目指していた目標がなくなるのは空しく、寂しいものです。しかし、自分のサッカー人生の終わりではないです。だから、全体練習がなくても、自分の力を伸ばさなければと強く感じます。卒業後は海外へ行きます。ヨーロッパの本気とやりあう為にレベルアップし、自分の可能性を広げていきます。外国人顔なのでそっちの方が馴染むと思います。しかし、外国へ行くと、言葉や文化の違いに対する不安や心配が普通懸念されますが、積極的にコミュニケーションを図り対応していこうと案外、楽観的に考えています。

3年　浦　上　真次郎

僕の高校3年間の生活は充実してシンプルに楽しかったです。毎日が楽しくて思い出深い3年間になりました。みんなと笑った回数も多かったけどその分怒られる回数も多かったです。ガキで幼稚な人間性は今、治していくところです。人間性がサッカーに出る、とグロイエンの近和歌戦の時中尾コーチに言われたのを今でも覚えています。言われてすぐは誰でもできるけど継続するのは簡単ではないことなんだと実感しました。サッカーの面では怪我が多くて3年生の時にはサッカーがちゃんとできたのは実質3ヶ月ちょっとでした。今思えばもっともっとみんなとサッカーがしたかったのが本音です。でも、3年間必死に毎日みんなとサッカーに励んだ日々は絶対に忘れません。滝二に来てサッカーをもっと好きになれたし、こんなにサッカーに熱中できる環境は他にないと思うので後輩のみんなは今を存分に楽しんでください！毎朝今日は絶対楽しくなる！と頭でずっと考えてたら本当に楽しくなります。3年間は本当に短いので今できるやりたいことを好きなようにやって無駄のない1日を過ごしてください！そして今まで関わって下さった先生方、コーチには感謝しかないです。本当にありがとうございました。

3年　永　川　遼

3年間ありがとうございました。いま振り返ってみるとあっという間で楽しかったこと、悔しかったことなどがギュッと詰まった3年間でした。選手権に出たいという目標をかかげて滝二に入学しました。一年生の時はついていくのがやっとでただひたすらにサッカーに励んでいました。その結果プリンスリーグに出場したり、Aチームに関われるようになり全国のレベルを認識することができました。2年生の時はとにかく試合に出ることを目標に頑張りました。一年生の時に比べ試合に出れる機会が増えてインターハイにも出れることができました。しかし選手権前に怪我をしてしまい本番には間に合ったんですけどなかなか調子が戻らなくて結局選手権に出ることなく負けてしまいました。本当に悔しくて自分達の代では絶対に選手権に出てやろうと思いました。新チームの最初に裏選手権という大きな大会がありました。そこで色んな強豪のチームと対戦して優勝することができ、この大会を通じて自分もチームとしても一番成長できた瞬間だと思います。そこからはコロナの影響があり大会がなくなっていきサッカーをする時間も限られていきました。監督も変わり新しいサッカーを取り入れていき環境がガラッと変わりました。サッカーに対してより頭を使うようになり自分としてより成長出来たなと思います。そして、色んな関係者のおかげで選手権は無事開催されることになり優勝に向けて一致団結して頑張ってきました。しかし準決勝で負け自分の夢である選手権に出ることなく高校3年間が終わってしまいました。振り返ると後悔しか残ってなくてもっとこうしてればなど考えただけでたくさん出てきます。でも自分にはまだ大学サッカーが残っていて次の舞台で全国大会に出るという新しい目標を掲げています。高校で学んだ事を生かして大学でも頑張りたいと思います。最後に、毎日どんな時もサポートしてくれた親や、指導してくれたスタッフそして最高の仲間達にとても感謝しています。3年間ありがとうございました。

3年　木 出 昂 希

高校3年間を振り返ると、自分が目標としていた全国大会のピッチに立つことは出来ずとても悔しい思いをしたけど、サッカー部の仲間と共に喜び合ったり、支え合った時間は最高に楽しく、かけがえのないものになりました。

特に今年は、コロナウイルスの影響もあり、学校が休校となりみんなと大好きなサッカーができない辛い経験もしました。

少しずつ活動をすることが出来るようになると、自分が毎日サッカーができることの幸せ、仲間と一緒にサッカーをすることの楽しさ、今まで当たり前だと思っていたことの有り難さを再認識させてもらい、1日1日の大切さ、時間の使い方を今まで以上に考える1年となりました。

卒業後は、スポーツを通じて子供達の将来のサポートを出来るような仕事に就きたいと思っています。

この滝川第二サッカー部のモットーでもある「怯まず、驕らず、溌剌と」を忘れず夢に向かって頑張りたいです。

3年間ありがとうございました。

3年　渡 邉 風 汰

自分の部屋の中で1人でライブ配信を観ながら通信が途切れて廣瀬先生から試合の結果のLINEが送られた瞬間僕の高校サッカーは終了した。最後ピッチに立つこともできなければベンチにもスタンドにもいなかった。そのあとの晩御飯の時も「今日負けちゃった」って言ったきりで何気ない感じで過ごしていたと思う。その日は悔しさも涙も出なかった。何をこの三年間学んだんだろう、何を得ただろう。そりゃ考えると沢山出てくる、けどそのほとんどが良い思い出や良い結果からじゃなかった、負けてばっかりだった。試合にも、仲間にも、そして自分にも、そう思うとこの3年間あっけなかったなって思ってしまう。

3年前はもっと必死だった、嫌になるほど走ってたし、無我夢中だった、けど今思うとそこまで自分を追い込めたのも中学のコーチのおかげだったなって思う、中学に上がる時セレ西を一次で落ちたり神戸FCにも落ちた僕が滝ニに入れたのもきっとコーチのおかげだった、だからこの3年間それ以上の努力をしたのかと自分に問うと、結果からみても、自分でどう肯定しようと思っても「いいえ」と思ってしまう、だから結局僕はまだまだ未熟だし、中途半端な人間なんだと思う。けど決してこの三年間は無駄じゃなかったと思う、いい仲間にも出会えたし、普通の高校生では経験できないことをたくさんできたと思う、そう今思ったことが言い切れるように、価値あるものになるように、自分の人生においてなにか決定的な結果を出したい、だから俺はまだまだこんなもんじゃないと、まだまだやれるぞと、自分へのこれからの期待を込めてあえてこの3年を否定的な形で終わろうと思う。

最後に、みんな三年間ありがとう、めっちゃ楽しかった。

3年　原　　勇義

僕はこの3年間色々なことがありました。自分が滝二に入る前に目標にしていた全国大会に出るということが叶わず悔いが残る3年間でした。しかし、滝二での3年間でたくさんの経験をさせてもらいました。僕は入学した時はみんなよりも下手で1番下からのスタートで試合にもあまり出れずにいましたが、監督、スタッフに怒られるばっかりでした。2年は自分の長所に少しづつ自信がつき、自分に自信をもってプレーでき始めました。3年は新チームになってからトップの試合に出ることが多くなり、自分的にもいいプレーが多くなっていったと思います。なので１，２年生には日々の練習の時から一つ一つのプレーを常に振り返り考えてプレーしてほしいと思います。結果的に最後の試合にはベンチに入れませんでしたが確実にこの3年間で人としてもサッカープレーヤーとして大きく成長できたと思います。それは、自分だけでの力ではなく、監督、スタッフ、保護者、自分に関わってくれたすべての人達のおかげだと思っています。全国大会出場というかたちで恩返しはできなかったけど次のステージでこの恩を忘れず、常に感謝の気持ちを忘れず自分の活躍で恩返しをしたいと思います。

3年間本当にありがとうございました。これからよろしくお願いします。

3年　福　田　隼　士

僕は高校生活の3年間で多くのことを経験し、学ぶことができました。中でも1番肌で感じて学んだことは、今の自分には高すぎる環境に敢えて身を置くことで、通常以上に大きく成長することができる、ということです。入学当初、中体連でサッカーをしていた自分にとっては経験したことのないハードな練習や高いレベルでの試合の連続で、よく足を攣ったり小さな怪我をしたりを繰り返していました。多くの面で周りよりも劣っていたので、周りのみんなについていくだけで精一杯で、周りと比べて遅れをとっていると感じていました。しかし、小さな努力や日々の練習を重ねるにつれて少しずつ足を攣る回数や怪我の数が少なくなっていき、周りに遅れをとっていると感じることも減っていきました。そして今では周りのみんなに遅れを取らず、対等にサッカーができるようになっていると感じています。このように、高い環境に身を置くことで普通以上の成長ができるということを高校3年間で身をもって知ることができました。

高校卒業後、僕は自分の夢であるプロサッカー選手を目指して、大学サッカーという舞台でサッカーを続けていきます。大学サッカーにステップアップすると、今まで以上に高い環境でサッカーをすることになりますが、高校時のように環境に負けず、自分の成長に繋げていきたいです。サッカーで学んだことは日常生活や他のことでも同じことが言えると考えています。これからはサッカー以外でも自分が成長したいことがあれば、進んで高い環境に身を投じ、大きく成長していきたいです。

3年　奥　野　悠　仁

改めて滝川第二高校サッカー部で過ごした3年間を振り返ってみると怪我の連続であまり自分の中ではいい思い出はありませんでした。

この3年間でちゃんとサッカーをしたのが1年ぐらいしかなく2年間ほぼリハビリでした。捻挫だけでなく脳震盪など色んな部位の怪我をこの3年間でしました。

でも、怪我をした事によって自分の将来の事を真剣に考える事ができてサッカーが出来なかったのは損だったけど大学に向けてのことを考えた時に得したのかなと思っています。サッカーを最長でやったのが2年の夏の終わりから12月くらいまでその時はとても楽しかったけど自分の実力が全然でBチームの中でもかなり劣ってしまっていました。この経験から怪我のしすぎは本当にダメだなと思いました。

この3年間で心身共に成長はしたと自分の中では思っています。3年間ありがとうございました。

3年　林　　　憲太朗

僕は一年生のときに国体に出場し、サッカー人生で初めて全国大会を経験しました。しかし、一回戦で惨敗。非常に悔しい思いをし、全国のレベルの高さを思い知り、自分の力の無さを痛感しました。

そして二年生のときからスタメンで出場することができました。しかしその年では、結果が全く出ず来年こそは全国に出れると、どこか自分の中で『何とかなるやろ』という気持ちがありました。1月には裏選手権で優勝することができました。しかし、その頃から自分のプレーの調子が悪く、チームへの貢献度も低く、正直素直に優勝したことに対して喜べませんでした。その2週間後にあった関西トレセンに参加し、そこでのレベルは今まで体験したことがないほど高く、とても刺激を受けました。ここで経験したことをチームに持ち帰り、いい感じでチームが作り上げられていた頃に、新型コロナウイルス感染拡大による自粛生活が始まりました。いつ練習が再開されるかわからない状況で、ひたすら自分と向き合う毎日でした。

自粛期間が明け新体制がスタートし、戦術や考え方など何もかもが新しくなり、練習を行うたびに新しい知識を身につけることができ、練習に行くのが楽しみになっていました。そして、選手権直前の鹿島遠征で良い準備をすることができ万全の状態で挑んだ選手権。結果は準決勝敗退。滝二に入るまで当たり前だと思っていた全国大会出場。滝二に入れば全国に出れるなどという甘い考えが全く通用しなかった。そんな現実を突きつけられました。

『何とかなるやろ』では、何ともなりません。僕に足りなかったのはほんの少しの意識だと思います。1・2年生は、日々の練習であえてしんどいことをしてください。それに、練習にはすべて意図があります。これはどのような状況の練習なのか、どんな場面で使うのかを1つ1つ噛み砕いて練習して欲しいです。それを積み重ねていくと必ず目標を達成できると思います。

最後に、毎日素晴らしい環境でサッカーをさせていただいた滝川第二のスタッフやマネージャーにはとても感謝しています。そして、3年間ケガをすることなくプレーできたのも1番のサポーターである両親のおかげです。ありがとうございました。まだ、僕のサッカー人生は続くので滝二での経験を胸にさらなる高みへ目指していきます。

3年　藤　井　宏　樹

3年間でたくさんの経験をしました。1年生の時はほとんど怪我をしていてあまりサッカーができていませんでした。2年生の時はBチームでたまに試合に出るくらいでした。グラウンドが土から芝に変わり、環境がよくなったので、サッカーをするのも楽しくなりました。2年生の時は遠征がとても印象に残っています。広島遠征や浜名湖遠征などで強いチーム相手にたくさん試合にでることができたので楽しかったです。3年生になってコロナウイルスがあったので、最初の方はほとんど学校に行くことがありませんでした。監督も変わっていろいろと変わったところもあったけど、サッカーに集中してできるようになったと思います。この3年間で公式戦にはほとんど出れなかったけど成長することができたと思います。

3年　萬　谷　陸　人

3年間ありがとうございました。滝川第二に入って全国大会に出る事が、僕の１つの夢でした。滝川第二に入学してから、当たり前のように全国大会に出れると思っていましたが、結果は3年間1度も全国大会に出ることができず、とても悔いの残る3年間になりました。でも滝川第二に入ってみんなとサッカーが出来たことは、とても楽しかったし、自分の人生の宝物になると思います。2年生、1年生は自分達みたいに悔しい思いをしてほしくないので、1日1日の練習を大切にして全国大会で活躍できるように頑張ってください。3年間とても悔しい思いをしたので、この悔しい思いをバネに、次のステージでは自分の目標を達成できるように頑張りたいと思います。

3年　西　村　柾　希

私は奈良から兵庫に来て最初はレベルの違いに戸惑いました。みんな上手かったので自分は三年生になった時、試合に出れるのかと思っていました。一年生の時はAチームに関わることはなかったですが、2年の時から上の方に上げてもらい、徹先生にみっちりサッカー以外の人間性などの面を指導していただきました。そして新チームになるとスタメンで試合に出ることができました。私が試合に出れるようになったのは監督、コーチなどのご指導のおかげです。しかし、それ以上に自分がどのようになりたい、どんなプレーをしたいかをしっかり考えて練習に取り組んでいたのも大きな要因の一つだと考えています。この3年間はたくさんの出来事があり、辛いことや理不尽な思いをすることもありました。しかし、それは将来、良い思い出として自分に残ってると思います。それをふまえて下級生には優勝を目指して頑張って欲しいと思います。

3年　姜　　隆太

まず、この高校3年間はとても短かったです。あっという間に卒業が近づいてきました。

僕は高校で初めて全国で有名な強豪チームの一員になりました。小学生の時も中学生の時もクラブチームに通わず部活動でサッカーをしていました。

全国的に見てレベルが落ちる環境でサッカーをしていたので、初めて滝二の試合を見た時は驚きました。自分がこのレベルについていけるのか不安もあり、高いレベルでサッカーができるというので、ワクワクする気持ちもありました。

滝二に入る前は、環境が緩かったので自分が活躍して勝つ試合がとても多かったです。しかし、滝ニに入ってからは環境ががらりと変わり中々試合で活躍できませんでした。

僕は高校に入ってから、サッカーに対する視点がすごく変わりました。高校に入る前は複雑にサッカーのことを考えなくても、上手くいくことが多く、自分がこれまでやってた環境がとても緩かったのだと思いました。その中で、高校に入ってから『妥協』という言葉を教わりました。

練習を妥協したり、練習の中でもきついメニューを妥協したり、自主練を妥協したり、練習前の準備を妥協したり、妥協できる場面ってすごく多いのだなと感じました。その一つ一つの妥協が後々の大事な試合や人生に繋がって、勝敗を左右するのだと思いました。妥協するのはすごく簡単です。一切妥協せず努力し続けた、ごく僅かの人達がプロになったり、人生で成功したりするのだと滝二で教わりました。

『どんな時も自分との戦い』この言葉は今後の自分の人生に、常に念じていかなければいけないし、すごく共感できます。自分との戦いに勝利すればするほど、人は成長するし、成長の先に成功があると思います。

僕は滝二でとても濃い高校生活を送れました。3年間僕に携わってくれた両親、親戚、同級生、下級生、上級生、先生方、その他全員に感謝の気持ちでいっぱいです。

3年間本当にありがとうございました。

僕はここに書いた通り、3年間で学んだ貴重な経験を次のステージ、今後の人生に存分に活かしていきます！

学んだことを常に心に刻んで、これからは滝二サッカー部OBとして、堂々と胸を張って生きていきます！

最後に、滝二サッカー部の未来の為にもいい報告ができるように、切磋琢磨していきます！

3年　滝井優生

滝川第二高校サッカー部35回生の97番滝井優生です。

僕はこの滝川第二高校サッカー部でこれまで経験した事ないことを経験することが出来ました。

僕は小、中ともにあまり強くないチームでプレーしていて日々の練習からチームメイト同士で切磋琢磨することがなかったのでそこが自分にとって貴重な体験をさせてもらえました。その貴重な体験から僕は大切な事を学びました。それは時間の使い方です。自分は他のみんなと経験値が違いそれに追いつくためには努力しかないのですが自分はただひたすら自主練をし続けていて意味のないことはなかったですがもっと明確な目標を持ち、その目標に向けて練習メニューを自分で決めてどんな時でも自分に負けず努力し続ける事が大切だと今になって実感しました。

なので次のステージではこの事をしっかり有言実行し、少しでもはやくから試合に出て関西2部Aから関西1部に昇格させたいと思います。

3年　斎　藤　諄　樹

　僕は滝川第二高校のサッカー部で3年間過ごすことができてとても良い思い出になりました。１年生の時は県リーグなどには出られずとても辛かったですがグロイエンは試合に出る機会も多くてとても楽しく良い経験にもなりました。2年生はとても充実していました。県リーグに出場する時間が増えて勝つことの嬉しさや負ける悔しさを実感する事ができました。僕はインハイも選手権のメンバーには入れず同じ学年の選手がAチームで活躍している姿を見て悔しかったです。その悔しさをバネに毎日シュート練習やドリブル練習をしたことは僕を強くしてくれたと思います。それから神戸市新人戦では試合に出て優秀選手に選ばれて嬉しかったですし自信もつきました。その後のニューバランスカップでは優勝することができ、とても良い経験にもなりましたしチームとして戦う大切さを実感できました。それからコロナウイルスが流行ってしまい当たり前のように毎日練習していたサッカーが出来なくなったのは辛かったですが改めて僕はサッカーが好きなんだなと思えました。インハイも無くなり選手権も負けてしまって目標にしていた全国制覇は出来なかったですが最高の仲間に出会えてよかったです。これから大学に進学しサッカーを続けるのでそこで結果を出し続けれる選手になれるように頑張りたいです。

3年　眞　古　大　輔

　僕は滝二に来て良かったと心の底から思えるくらい充実した3年間でした。そして、たくさんの貴重な経験を積む事ができました。特に印象に残っている事が２つあります。

　一つ目は、ニューバランスカップ（裏選手権）での優勝です。一年生の時に、チームとしても個人としても悔しい思いで終わってしまった大会だったので、今年こそはと、かける想いがとても強かった事もあり、いい結果が出て本当に嬉しかったです。自分自身としても一皮剥けれた大会でした。

　二つ目は、プロになることの厳しさを教えられた事です。夏に京都橘と試合をして、相手のFWのプロに内定している選手に完敗し、プロになる人と自分の差を感じました。大会で活躍して、注目を浴びる、そしてそれからまた結果を残し続けるという単純なことかもしれないけれど、プロになることは、とても厳しいと痛感させられました。

　それでも、僕の夢はプロサッカー選手になることです。滝ニで3年間学んだことを活かして、大学で必ず活躍し、必ずプロサッカー選手になります。

　最後の選手権では悔しい結果になったけれど、ニューバランスカップ優勝や県リーグ一部優勝、神戸市リーグ優勝などと滝二の歴史に残すことができて本当に良かったです。3年間ありがとうございました。

3年　吉 谷 尚 也

僕にとっての部活動は充実した3年間でした。選手権の全国優勝に憧れて進学は、滝二しか考えていませんでした。入部してから滝二のユニフォームを着て試合をすることで、この高校の偉大さを感じました。自分が問題が起こしてしまうとチームに迷惑をかけてしまうので今までとは違う緊張感がありました。その緊張感があったからこそ僕はサッカーに集中して取り組むことができました。また僕は部活動を通して支えてくれる方の大きさを改めて実感しました。今年は監督も変わりサッカーも変わり上手くいかないことが多かったけど、コーチ陣には何度も丁寧に指導していただき苦手だったことも上手くいくようになりました。また良いプレーや悪いプレーを細かく指導してもらい自分の課題を明確にすることができました。両親には自分がサッカーに集中してできるように支えてもらい感謝しています。そしてこの3年間いろんな経験をさせてもらった滝二にも感謝しています。他の高校では体験できない、サッカーの環境や強豪校との試合など素晴らしい経験ができました。今年も全国大会には出れなかったけど来年は全国大会に出れるように頑張ってください。

3年　重 富 凌 太

僕の高校の三年間の生活はあっという間に一瞬で終わりました。

理由は、毎日みんなと喋ったりサッカーをしたり生活をして毎日楽しかったからです。

またこの3年間で色々なことを学べて成長できました。

人間性の大切さや皆んなで協力して頑張ることの大切さなど数え切れないほど大事なことを学べたので本当に良かったなと思いました。

全国大会には3年間出られなかったけど得たものはたくさんあったのでこの学校を選んで良かったなと思いました。

後の後輩達には毎日頑張って僕たちが果たせなかった目標を果たして欲しいなと思います。

また1番心に残る思い出は何かと考えると全部楽しくて心に残っているので選べませんでした。

これから辛いことや嫌なことがあったら滝二で楽しかったことを思い出して乗り越えていきたいなと思います。今まで支えてくれたスタッフや先生や家族には本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

3年　岩　澤　秀　人

滝二での3年間を振り返ってまず1年目は怪我が多くて辛い一年になってしまって自分の目標であった1年生から試合に出て活躍する事ができなくてとてもつらかったです。2年目からは試合に出さしてもらう事が多くなってとてもいい経験をさしてもらい3年生より自分がという気持ちの方が上だったけど結局自分1人では何にもできずに3年生に頼る事がおおかったです。そして3年目の自分達の代では最近選手権に滝二が出てないの出るという気持ちでやりました。

でも選手権での最後の試合で負けて悔しいというかあっけなくおわっていました。でも滝二で良かったと思えています。

僕を滝二に引っ張ってくれた松岡元監督。最後の年に色々な戦術をくれた亀谷監督。指揮をとるとほぼ負け無しの藤森コーチ。最後の引退試合を見守ってくれた中尾コーチ。1番近い距離で接してくれた神宮コーチ。独特なセンスを磨かしてくれた宮本さん。怪我を診てくれたトレーナー。英単語テストをしてくれた梶先生。検温担当してくれた岡村先生。みんなの世話してくれたマネージャー。3年間担任をしてくれた廣瀬先生。35回生サッカー部と出会えてよかったです。

大学卒業後はプロになります。

3年　元　武　風　華

私にとって高校3年間は充実した毎日でした。滝二に来て後悔はなかったなと心から思います。

特に、サッカー部のマネージャーとして活動できた約2年半は想像以上に楽しくてかけがえのない日々の連続でした。しんどいこともあったけど、楽しそうにサッカーをしている選手の姿を見ると、いつも元気づけられていました。入部して間もない時は不安だらけだったけど、コースも違う私と仲良くしてくれたり、話しかけてくれた、優しくて心温かい35回生、後輩に出会えたことがなによりも誇りです。サッカー部のマネージャーの活動を通して、人として少しは成長できたかなと思います。貴重な経験をさせていただき有り難うございました。

私は将来、医療とスポーツに携わる仕事に就きたいと考えています。その１つとして、高校卒業後、大学で一生懸命学び、理学療法士の資格を取得する予定です。高校3年間で学んだ事を糧に自分なりに精一杯頑張ります。

最後になりましたが、今後の滝川第二高校サッカー部のご活躍を陰ながら応援しています。

new balance cup2020(裏選手権)

◎予選リーグ
滝川二　１－０　帝京第三
滝川二　３－０　日体柏
滝川二　３－０　帝京安積

☆１位通過

◎決勝トーナメント
１回戦
滝川二　３－０　暁　星
２回戦
滝川二　３－２　履正社
準決勝
滝川二　１－０　桐光学園
決　勝
滝川二　１－０　東海大大阪仰星

☆優勝

ジャパンユースプーマスーパーリーグ

◎ジャパンユースプーマスーパーリーグ2020
TOPリーグ
滝川二　０－３　流通経済大学柏A
滝川二　０－３　米子北A
滝川二　１－０　旭川実業A
滝川二　０－１　アルビレックス新潟

SECONDリーグ
滝川二　１－０　流通経済大学柏B
滝川二　０－３　米子北B
滝川二　２－２　旭川実業B

☆新型コロナウイルスの影響により
残り試合は中止。

◎・ジャパンユースプーマスーパーリーグ2021
滝川二　３－０　藤枝東
滝川二　５－１　東　邦

☆２節終了時点２勝０敗０分

高円宮杯

◎高円宮杯JFAU18サッカーリーグ2020

神戸市1部リーグ

滝川二	２－０	北須磨
滝川二	１－２	友が丘
滝川二	２－１	育　英
滝川二	２－１	滝　川
滝川二	２－０	神戸科技Ｂ
滝川二	３－０	啓　明Ａ
滝川二	７－０	六甲アイ
滝川二	５－２	神　戸
滝川二	４－０	伊川谷北

☆優勝 ８勝１敗０分

兵庫県1部リーグ

滝川二	４－０	県西宮
滝川二	０－３	ヴィッセル神戸Ｂ
滝川二	６－０	御　影
滝川二	５－１	報　徳
滝川二	１－０	関　学
滝川二	２－０	神戸国際附Ａ
滝川二	４－０	神戸科技Ａ
滝川二	２－０	エストレラ姫路Ａ
滝川二	２－０	神戸弘陵Ａ

☆優勝 ８勝１敗０分

兵庫県高校総体代替大会　男子サッカーの部

2回戦	滝川二	５－０	神戸北
3回戦	滝川二	１－０	尼崎北
4回戦	滝川二	３－０	市立西宮
5回戦	滝川二	３－２	三木北

☆第５位（新型コロナウイルスの影響により準々決勝にて大会終了）

関西U16グロイエンG2（関西2部）リーグ

滝川二	５－０	近大和歌山	滝川二	６－２	野　洲
滝川二	２－２	四日市中央工業	滝川二	１－０	三田学園
滝川二	３－２	初芝橋本	滝川二	１－２	金光大阪
滝川二	３－０	東大阪大学柏原	滝川二	１－４	近畿大学附属
滝川二	１－３	草津東			

☆第４位 5勝3敗1分

関西U16グロイエン2020 G2（関西2部）リーグを終えて

1年　亀井大和

新型コロナウイルスの影響があり大幅に遅れてという形にはなりましたが様々な関係者の方の協力があり「「関西U16グロイエン2020」を開催していただきました。

1年生にとって初めてのリーグ戦、遠方への移動など初めてづくしのリーグ戦でした。苦しい試合もありましたが交代メンバーの活躍もありなんとか勝ちきれた試合もありました。一方で自分たちのミスから失点が重なり負ける、立ち上がりの入りが悪い、などの課題も残りました。誰が試合に出ても勝てるようなチームになれるよう日々切磋琢磨して少しずつ強くなっていきます。

このリーグ戦でピッチ内、外の事について強く注意される場面が沢山ありました。そのような問題を無くしていけるように1人1人がリーダーシップを取って自分達で解決していけるようなチームにしていきます。まだまだ1年生は精神面、技術面、生活面など改善できる所が沢山あると思います。次の新たなシーズンでは少しでも多くの良い成績を残せるよう、チームの勝利に貢献できるように大きく成長する1年にしていきたいと思います。

選手権終了後の活動（VS興国、甲南大学、紅白戦）について感想

1本目	滝川二	０－２	興　国	
2本目	滝川二	０－０	興　国	
3本目	滝川二	１－１	興　国	（ハジャティ）
1本目	滝川二	３－１	甲南大学	（永川、岩澤2）
2本目	滝川二	５－０	甲南大学	（渡邊、岩澤2、松本、齋藤）
3本目	滝川二	４－２	甲南大学	（眞古、ハジャティ、岩澤、西村）

3年　林　憲太郎

◎興国戦

引退してからも体を動かしている人と動かしていない人の差がはっきりしていました。その中でも、興国の選手たちは引退してからもずっと練習を続けていて、質の高いプレーが維持できていました。そこの技術の差が結果につながったと思います。引退してからも次のステージを見据えて練習している興国の選手たちとの差が見えて、大学サッカーに向けてスタートが少し遅れたと感じました。そのことに選手たちが気づくことができ、少し選手自身のサッカーに対する意識が変わっていったと思います。

◎甲南大学戦

結果は大勝でき内容も良くとてもいいゲームができました。今の時期に大学生のスピード感やパワーを体感することにより、自分の足りないものや大学までに身につけておいた方が良いものが見つかりました。

この引退してからの試合の期間で、大学でサッカーをする選手としない選手でそれなりの意識の違いが見えましたが、サッカーを続ける選手たちは大学に向けて新たな目標を見つけることができました。これから大学が始まるまでの期間は見つけた課題に取り組み、いいスタートが切れるようにいい準備をしていきたいです。

寮生活について

3年　木　出　昂　希

僕は、高校3年間を学園寮で過ごしました。寮は、7つの重点部活動で全国での活躍を目指す仲間達との共同生活です。1年生の時は、初めて親元を離れ、慣れない事に戸惑うばかりで、本当に大変でした。その中で、寮父母の大崎さんを初め、先生方、先輩の皆さんに教えてもらいながら、いろんな事を覚え、学んでいけたと思います。

学年が上がるにつれ寮生活も快適に楽しく過ごす事ができたと思います。

そこには、サッカー部の仲間だけでなく、他の部活の仲間と過ごす時間が本当に大切だったと思います。

他の部活の仲間とは、練習や試合、大会や遠征など、それぞれのスケジュールで動くので、会えない時もありますが、この3年間を共に過ごし、いろんな話をしたことは、楽しく、刺激があり、自分を更に成長させてくれました。

最後の1年はコロナ禍もあり、食事やお風呂等、様々な制限があり、本来の学園寮の生活ができなかったのが本当に残念でした。同学年の仲間からもっと学べた事、後輩たちへもっと伝えられた事があったと思います。

振り返れば、半年ごとの部屋替え、夏のバーベキュー、サッカー部での全飯等、僕には学園寮の思い出もいっぱいです。このコロナ禍が終息したら、後輩たちにもっと経験してほしい、そして、楽しんで、成長し、思い出に残る3年間を過ごしてほしいと心から願います。

■ 2021シーズンの主将からの言葉

2020シーズンを振り返りと　2021シーズンへの展望、目標

2年　藤　田　仁　朗

サッカー部新主将の藤田仁朗です。昨年度の2020年を振り返ると「悔しい」その気持ちが強く残った年でした。昨年は新型コロナウイルが大きく影響してたくさんの活動が制限されてしまう事が多くあるなか、夏のインターハイが無くなってしまいました。チームは冬の選手権の全国大会出場に向けて前向きに頑張ってきました。行動が制限されるなかで、学校関係者の方々や顧問の先生などたくさんの方々の力を借りながら選手権に向けての強化合宿なども行いました。しかし選手権の県予選・準決勝で敗れてしまい全国大会への切符を逃してしまいました。僕たち1.2年生は3年生の力になることができずにとても悔しい思いをしました。3年生からは堂々とした姿、先輩としての振舞いなど行動でたくさんの事を教えていただきました。だからこそ2021年は3年生から学んだ事を忘れずに日々の練習、試合、公式戦全てに全力で取り組みます。そして必ず夏のインターハイ、冬の選手権全てを取りにいきます。

滝二のモットーである「怯まず・奢らず・溌剌と」を胸にチャレンジャー精神で頑張ります。そして昨年で大きく感じたサッカーができるありがたみ、たくさんの方々のサポートがあるということ、感謝の気持ちを結果で恩返しできるように努力していきます。

四中工交流会

◎ 1試合目

滝川二　0 $\begin{pmatrix} 0-1 \\ 0-1 \end{pmatrix}$ 2　四中工

◎ 2試合目

滝川二　2 $\begin{pmatrix} 1-1 \\ 1-1 \end{pmatrix}$ 2　四中工

（姜、ハジャティ）

四日市中央工業交流会を終えて

3年　松　本　祐　満

今年はコロナの影響により毎年行われていた四中高交流会が夏に全学年で行うことができませんでしたが、保護者の方々、スタッフの方々のおかげで12月に3年生だけでの交流会を行うことができました。本当に感謝しかないです。今年はいろんな大会もなくなり苦しい思いをした一年で、両校全国大会に出場することができずこの日が最後の対外試合ということもありそれぞれ色んな思いがあったと思います。結果は負けてしまい、正直勝って終わりたいという気持ちはあったけど、こうやってこのメンバーで悔しがるのも最後だと考えるととても感慨深かったです。白熱するシーンもあって楽しむこともできたと思います。最後にこのような形でまた一つ思い出が作れたことは本当に良かったと思います。

2021年 始動

2020年度新人大会神戸市大会

１回戦	滝川二　４－１　東　灘	準決勝	滝川二　１－０　神戸星城
２回戦	滝川二　５－２　神戸甲北	決　勝	滝川二　３－２　神戸科技
準々決勝	滝川二　６－０　兵　庫		☆優勝

2020年度新人大会兵庫県大会

２回戦　滝川二　4（1−0 / 3−0）0　三田学園
（相原2、元津、中塚）

3回戦　滝川二　1（0−0 / 1−0）0　芦屋学園
（黒井）

準々決勝　滝川二　6（1−0 / 5−0）0　洲本高校
（平岩、西村2、元津2、相原）

準決勝　滝川二　1（0−0 / 1−0）0　報徳学園
（藤田）

決　勝　滝川二　0（0−0 / 0−0）1　神戸弘陵

2年　黒　井　海　舟

コロナ禍ではありましたが、年末より神戸市、兵庫県サッカー協会や学校関係、監督、顧問、コーチなど、様々な関係者の方々のおかげで『2020年度新人大会』を開催していただきました。

選手権での敗退、先輩方が抜けた新チームになって初の公式戦。神戸市大会では準決勝からはジャパンユースも重なり4連戦の中、全試合を何とか勝ちきり優勝することができました。県大会ではチームとしては5年ぶり、自分たちとしては入学してから初めての決勝の舞台に立ちました。苦しい試合もありながら勝ち続けることができたのは収穫ではありましたが、DFとしては失点も多くまだまだ成長段階で横の連携だけでなくチーム全員で連動しながら改善し、自分達の理想としている結果につなげなければと思っています。

又、県大会決勝の舞台を経験できたことはこれからの自分たちのプラスになるとは思いますが、そこに満足せず、決勝進出は当たり前、そして兵庫では自他ともに認めるトップの存在。それを実現するために日頃から何をすれば最後の最後で勝ちきることのできるチームになるのか、自分たちが満足できる結果を出せるのかを追求し、自分も出来るだけ周りに良い影響を与えられるように全力で取り組みたいと思います。

監督の『出ているメンバーがベストメンバー！』との言葉にあるように、出場する選手一人一人が自分のプレーに最後まで責任を持つことを意識し『プレーする自分達も、観ている人も楽しめるサッカー』をメンバーと共有することで、高いモチベーションで練習にのぞみ、今年こそ全国を勝ち取ります。今はまずはインターハイ予選に向けてチーム全員で突き進みます。

神戸市大会

兵庫県大会

2021年度
新入生紹介

氏名	亀井（かめい）　大和（やまと）
生年月日	2004年８月７日
背番号	19
出身チーム	U-12：龍野JSC U-15：サルパFC
ポジション	MF
得意なプレー	1対1の守備、ロングボール
高校サッカー生活に向けての意気込	全国大会へ出て活躍し、将来の夢を叶えられるように頑張ります

氏名	小原（こはら）　颯太（そうた）
生年月日	2004年４月27日
背番号	20
出身チーム	U-12：V神戸U―12 U-15：インテルナシオナルジャパン
ポジション	FW
得意なプレー	両足を同じように扱える
高校サッカー生活に向けての意気込	選手権やインターハイで全国へ出て活躍します

氏名	中山（なかやま）　誠之（ともゆき）
生年月日	2004年４月11日
背番号	30
出身チーム	U-12：福良FC U-15：南淡中学
ポジション	GK
得意なプレー	コーチング
高校サッカー生活に向けての意気込	日本一になれるように一日一日の練習を大切に取り組みます

氏名	森野（もりの）　雅輝（まさき）
生年月日	2004年８月24日
背番号	31
出身チーム	U-12：FC佐古 U-15：徳島FCリベリモ
ポジション	GK
得意なプレー	キャッチング
高校サッカー生活に向けての意気込	一日一日を大切にします

氏名	岸（きし）　留生（るい）
生年月日	2004年10月12日
背番号	32
出身チーム	U-12：FCフレスカ神戸 U-15：FCフレスカ神戸
ポジション	MF
得意なプレー	左足のキック
高校サッカー生活に向けての意気込	必ず全国大会へ出て活躍します

氏名	濱邉（はまべ）　快斗（かいと）
生年月日	2005年１月25日
背番号	36
出身チーム	U-12：新多聞SC U-15：Meister SUMA FC
ポジション	WG、LSB
得意なプレー	攻守の切り替え
高校サッカー生活に向けての意気込	多くの大会で賞を取って、全国大会へ出場し全国優勝します

氏名	雨堤（あまづつみ）　太志（たいし）
生年月日	2004年５月23日
背番号	39
出身チーム	U-12：西淡SSS U-15：西淡中学
ポジション	CB
得意なプレー	ロングキック
高校サッカー生活に向けての意気込	３年間悔いを残さないように日本一を目指して日々努力します

氏名	たにぐち そうや 谷口 蒼弥
生年月日	2004年９月12日
背番号	42
出身チーム	U-12：木津SC
	U-15：Meister SUMA FC
ポジション	FW
得意なプレー	裏への抜け出し
高校サッカー生活に向けての意気込	インターハイ、全国大会へ出場して活躍する為に日々頑張ります

氏名	おかむら こうせい 岡村 康生
生年月日	2004年６月５日
背番号	49
出身チーム	U-12：神戸コスモFC
	U-15：本山中学
ポジション	FW
得意なプレー	ポストプレー、センターリング
高校サッカー生活に向けての意気込	日本一になる為に、課題を直し強いチームになります

氏名	きしの ゆうた 岸野 悠太
生年月日	2004年９月11日
背番号	58
出身チーム	U-12：西宮SC
	U-15：アリバSC
ポジション	CB
得意なプレー	ヘディングの強さ
高校サッカー生活に向けての意気込	兵庫県制覇して王座のイスを取り戻します

氏名	ほんじょう たくと 本庄 拓人
生年月日	2004年11月16日
背番号	61
出身チーム	U-12：エストレラ津田SC
	U-15：エストレラ姫路FC
ポジション	GK
得意なプレー	コーチング、ハイボール、ビルドアップ
高校サッカー生活に向けての意気込	下級生の時からスタメンで全国へ行きます

氏名	おくの たくみ 奥野 匠
生年月日	2004年９月５日
背番号	64
出身チーム	U-12：井吹台SC
	U-15：井吹台中学
ポジション	CB
得意なプレー	身長を活かしたヘディング
高校サッカー生活に向けての意気込	一日一日の練習を大切にして悔いのないように頑張ります

氏名	ばば しゅんたろう 馬場 峻太郎
生年月日	2004年12月８日
背番号	65
出身チーム	U-12：ヨーケンFC
	U-15：星陵台中学
ポジション	SB
得意なプレー	スピードを活かした攻撃参加
高校サッカー生活に向けての意気込	選手権で全国大会に出場し、全国の舞台で活躍します

氏名	きら てんゆう 吉良 天佑
生年月日	2004年５月31日
背番号	67
出身チーム	U-12：ひおかSC
	U-15：VIVO FC
ポジション	SB
得意なプレー	高い運動量、堅実な守備
高校サッカー生活に向けての意気込	全国大会で自分がチャンスを作って日本一に導きます

氏名	にしだ ゆいちろう 西田 唯一郎
生年月日	2004年８月16日
背番号	69
出身チーム	U-12：福良FC
	U-15：南淡中学
ポジション	DF、FW
得意なプレー	当たり負けしない、スピード
高校サッカー生活に向けての意気込	毎日必死で練習して誰よりも成長したい。そして選手権で絶対勝つ

氏名	なかがわら あすか 中河原 飛鳥
生年月日	2005年１月５日
背番号	70
出身チーム	U-12：荻野SC
	U-15：伊丹FC
ポジション	FW
得意なプレー	両足で強いシュートを蹴れる
高校サッカー生活に向けての意気込	トップチームでスタメン取れるように頑張ります

氏名	まるお　たいち 丸尾　太一
生年月日	2004年6月22日
背番号	72
出身チーム	U-12：センアーノ神戸Jr U-15：神戸FC
ポジション	MF
得意なプレー	サイドチェンジのパス
高校サッカー生活に向けての意気込	選手権全国制覇する為に日々頑張ります

氏名	さかにし　はやて 坂西　快天
生年月日	2004年11月27日
背番号	73
出身チーム	U-12：やまてSC U-15：サルパFC
ポジション	MF、WG
得意なプレー	サイドのドリブル、ラストパス
高校サッカー生活に向けての意気込	選手権に出場して活躍し、全国大会で優勝します

氏名	ささくら　るい 篠倉　琉唯
生年月日	2005年2月2日
背番号	74
出身チーム	U-12：山南FC U-15：イルソーレ小野FC
ポジション	FW
得意なプレー	ゴール前のヘディング、相手を背負ってからのターン
高校サッカー生活に向けての意気込	結果を残せるように成長したいです

氏名	かみや　ゆうと 神谷　友騰
生年月日	2004年12月16日
背番号	77
出身チーム	U-12：五本木FC U-15：FCトレーロス
ポジション	MF
得意なプレー	ボールが足元に収まる事
高校サッカー生活に向けての意気込	全国の舞台で活躍できるように日々努力します

氏名	あかまつ　しんのすけ 赤松　慎之助
生年月日	2004年10月4日
背番号	78
出身チーム	U-12：パルセイロ稲美 U-15：イルソーレ小野FC
ポジション	MF、WG
得意なプレー	ドリブル（ダブルタッチ）
高校サッカー生活に向けての意気込	全国大会出場の為、努力します

氏名	にしむら　たいき 西村　太希
生年月日	2004年5月21日
背番号	79
出身チーム	U-12：大社SC U-15：神戸FC
ポジション	FW
得意なプレー	ゴールに絡むプレー
高校サッカー生活に向けての意気込	全国大会で活躍する為に日々練習を全力で取り組みます

氏名	むらた　ゆうや 村田　友哉
生年月日	2004年6月28日
背番号	81
出身チーム	U-12：但馬SCリベルテ U-15：但馬南SS
ポジション	CB
得意なプレー	誰にも負けない体力、鋭い縦パス
高校サッカー生活に向けての意気込	全国のピッチに立ち優勝します

氏名	はぎわら　じょうたろう 萩原　城太郎
生年月日	2005年2月4日
背番号	87
出身チーム	U-12：和田岬SC U-15：FCみなと-GRAW
ポジション	SB
得意なプレー	豊富な運動量、スピード
高校サッカー生活に向けての意気込	選手権101回大会で県で優勝して全国に出場して優勝します

氏名	うめつ　ゆうだい 梅津　優大
生年月日	2004年4月28日
背番号	99
出身チーム	U-12：FC佐古 U-15：プルミエール徳島
ポジション	MF
得意なプレー	スルーパスと相手を抜く
高校サッカー生活に向けての意気込	徳島から全国優勝をする為に滝二へ来たので、全国優勝します

指導スタッフ・父母の会本部役員

【2020年度 指導スタッフ】

監督	亀谷 誠	トレーナー	伊藤 浩充
部長	廣瀬 貴規		瀧口 耕平
顧問	長池 史敏		川上 寛貴
	森田 剛士	ファンクショナル、ビジョンTR担当	
	藤森 大介		山下 章雄
	岡村 銀次郎	スーパーアドバイザー	
コーチ	中尾 優輝矢		黒田 和生
	神宮 浩気		

【2020年度 父母の会本部役員】

代表	寺田 孝宣	本部会計	廣瀬 貴規
	恵美	会計監査	多田 愛弓
副代表	藤田 悟郎	学年会計	梶間 由佳
	亜希子	補助	杉本 修一
	阪本 章裕		雅美
書記	伴場 孝洋		川島 康史
	真美		佳代子
広報	黒田 俊介		粟飯原 功
	裕紀子		啓子
	山路 司義		日野 敏行
	智恵		美季
	中塚 博紀		島田 知樹
	里美		あゆみ

【2021年度 父母の会本部役員】

代表	小原 恵太・久美子	本部会計	廣瀬 貴規
副代表	丸尾 篤史・亜紀	学年会計	中河原 直美
書記	梅津 珠美		
広報	西村 聡子(広報代表)、村田 光弘、濱邉 陽子 森野 和子、谷口 真弓、神谷 伸栄、西田 美揚子、中山 真理子、岸 まり、萩原 ネルフィ		

※現状の決定メンバーです。会計監査なども今後追加されます。